

大乳商通信

(第9号)

発行所 大阪府牛乳商業組合
大阪市西区北堀江 3-6-28
Tel 06-6538-3061 Fax 06-6538-3067
発行者 理事長 小松 治

発行日
平成29年2月14日

『平成二十九年 年頭所感』

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。
二月になりましたが、大乳商通信の新年号発行にあたり、私の所感を申し上げます。
まずは、皆様が今年一年、息災でお過しの事、心より祈念申し上げます。
今年、米国大統領にドナルド・トランプ氏が就任したことで、先の見えない世界的影響が懸念されています。

日本にても、アベノミクスは何処へ、景気改善も足踏み状態ではないかと思われます。
しかし、この様な社会情勢の中、今こそしっかりと地に足をつけた組合運営が大切ではと
考えます。
役員一同、しっかりと取り組んでまいります。
よろしくご協力をお願いいたします。
皆様の力で活発な組合を再び構築いたしましょう。

理事長 小松 治



平成29年 新年理事会・互礼会を開催

1月20日(金) 平成29年 新年理事会・新年互礼会を開催

理事出席者 30名(うち委任状 15名)

来賓として、大阪府中小企業団体中央会 足立一平部長様、株式会社酪農乳業速報 榎原義明部長様の参席をいただき、理事会議事進行の後、新年互礼会(懇親会)に入り、小松理事長挨拶に続き、神吉副理事長の乾杯発声により和やかに歓談の運びとなり、散会いたしました。



(大阪府牛乳商業組合 小松理事長)



(大阪府中小企業団体中央会 足立部長様)

【牛乳組合からのお願い】

大阪府食品国民健康保険料 振込は 必ず 毎月 25 日迄に !

舌 助 報 告

三 役 会

28年 11月8日 (出席者 6名)

◎ 新年理事会について

1月20日(金) ホテルベイタワー

新年互礼会とし、参加案内を組合員全員に発信する。

12月6日 (出席者 7名)

12月定期会議 月次報告等

29年 1月6日 (出席者 6名)

1月定期会議 月次報告等

2月7日 (出席者 7名)

2月定期会議 月次報告等

活性化部会「大阪府 組合等事業向上支援事業」

昨年より、大阪府の支援を受け、大阪府中小企業団体中央会の協力で、中小企業診断士先生の指導のもと、5回に渡り「ビジョン作成」会議を行いました。
それを受け現在は、具体的取り組みの内容について審議しています。
皆様にご協力を得、ご回答いただきましたアンケートの集計結果(別紙)を同封しておりますので、ご覧ください。

活性化部会長 西田 一

特別委員会

荒木前事務局長への不明瞭支出金問題について

荒木前事務局長・寺本前理事長・巽前副理事長・寺西前相談役の4氏に対し現在大阪地方裁判所にて係争中です。

当組合は、4氏に再三の話し合いの申し入れを行いましたが、何れも応ずることなく、やむなく、樺島弁護士に依頼し、この度の提訴に至りました。

争点は、1、荒木氏が提出した、雇用契約書のコピーの信憑性が、はなはだ疑わしい点、しかもコピーであり、原本がない点(私文書偽造と思われる)

2、根拠のない、未払い給与一覧表(捏造と思われる)点

3、三役会も理事会もせず、寺本・巽・寺西の3氏で未払い給与とされる金額を、退職金として支払った点

特別委員長 伊津 征彦

ノロウイルスによる食中毒防止の徹底について

大阪府健康医療部長

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は1件当たりの患者数が多く、例年冬期に多発しています。感染力が非常に強く、わずかなウイルス量でも感染することから、感染者の手指等を介して食品を汚染することで食中毒の原因ともなります。ノロウイルス対策は食中毒予防の観点から重要な課題となっています。

つきましては、組合員の方々に右記事項（厚生労働省資料）を周知徹底していただくとともに、食中毒防止に努めて頂きますようお願いいたします。

牛乳販売店事例、最優秀賞に雪メグ塙販売所

全国牛乳流通改善協会（橋本正敏会長）は3日、東京で第29回牛乳販売店優良事例発表会を開いた。全国から選ばれた牛乳販売店8店が経営発表を行い、最優秀賞の農水大臣賞には、茨城県代表の雪印メグミルク塙販売所が選ばれた。

同販売所は、配達時の高齢者世帯への見回りなどを行う「ちょっとプラス」サービスや、地元幼稚園でスタッフが劇を行い腸内環境について学習する勉強会や、毎月開催の販売促進会議などが評価された。

開会にあたり、橋本会長は「発表者の皆さんが日頃から長年かけて培ってきたノウハウ、優良事例は全国の牛乳販売店にとって大変な励みとなり、また参考になる。全国の牛乳販売店は、これを刺激や参考として地域で活躍してほしい。今回の貴重な内容は優良事例集としてまとめられる。今日集まった全改協の代表者には、1日も早く内容を加盟店に周知するようお願いしたい」と挨拶した。

（日刊 酪農乳業速報 2017.2.6 日号より引用）

【編集後記】

1月20日開催の新年互礼会は、全組合員様に案内させていただきました。日ごろお会い出来ない方、お越しいただいた組合員の方々、本当に有難うございました。また、貴重なご意見もいただき、今後の大乳商通信に生かさせていただきます。原稿や情報もお待ちしております。

広報部会長 津村 調和



冬は特にご注意ください！

食品を取扱う方々へ

ノロウイルスによる食中毒

食中毒は夏だけではありません。ウイルスによる食中毒が冬に多発しています!!!

データでみると

ノロウイルスによる食中毒は、

◆患者数で第1位



原因別の食中毒患者数（年間）

◆冬期に多い



ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数（年間）

◆大規模な食中毒になりやすい



食中毒1件あたりの患者数

※出典：食中毒統計（平成19～23年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る）

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の健康管理

- 普段から感染しないように食べものや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取扱う作業をしない。
- 症状があるときに、すぐに責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの手洗い

- 洗うタイミングは、
○トイレに行ったあと
○調理施設に入る前
○料理の盛付けの前
○次の調理作業に入る前
- 汚れの残りやすいところを
ていねいに
○指先、指の間、爪の間
○親指の周り
○手首

調理器具の消毒

- 方法① 塩素消毒
洗剤などで十分に洗浄し、塩素濃度200ppmの次亜塩素酸ナトリウムで浸しながら拭く。
※エタノールや酸性洗剤はあまり効果がありません。
- 方法② 熱湯消毒
熱湯（85℃以上）で1分間以上加熱する。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

ノロウイルスQ&A 検索



2016年 酪農乳業界重大ニュース

- ① 指定団体制度めぐり業界大混乱
- ② アイス・ヨーグルト・チーズ消費量、過去最高更新へ
- ③ 生乳主産地に激甚災害相次ぐ
- ④ 牛乳市場で新しい動き
- ⑤ 大手各社軒並み増益、大型投資相次ぐ
- ⑥ TPP発効が不透明に
- ⑦ バター2年ぶりに年2度の追加輸入
- ⑧ 乳製品向け生乳で初の入札
- ⑨ 乳業の拠出金で初の酪農基盤対策へ
- ⑩ 政府が「液体ミルク」国内流通へ検討着手

（日刊 酪農乳業速報 2016.12.20 日号より引用）